

令和7年度 施策評価シート

施策の大綱	2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	評価担当者
基本施策	(5) 学びによる生きがいの創出	教育部長 大平 守
目指す姿	市民が豊かに学び、それぞれの学びの成果によって、地域社会で活躍しています。	
関連する分野別計画	亀山市生涯学習計画	

■ SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	4 質の高い教育をみんなに 	17 パートナリープで目標を達成しよう 
SDGs推進の考察	子ども向けの学校教育だけでなく、大人の学び直し(リスキリング)や、地域社会での学びなど、あらゆる年齢の人が生涯にわたって学び続けられる環境づくりに、ステークホルダーと連携しながら努めており、「質の高い教育をみんなに」提供することに寄与できています。	

■関連する主な事業

(単位:千円)

[illegible]

太字:主要事業

■ 成果指標

指標			現状値		実績値				目標値
					R4	R5	R6	R7	
1	デジタル技術を活用した講座の開催数	回	8	R2	1	6	15	13	20
2	図書館入館者数	人	61,500	R2	90,583	276,338	277,347	316,930	230,000
3									
4									
5									
6									

■ 市民アンケート調査

項目			現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察 (令和6年度施策評価内容を参考記載)
1	生涯学習講座が充実している	重要度	0.81	0.85	0.96	
		満足度	0.15	0.23	0.15	
2	公民館などの施設や行事内容が充実している	重要度	0.68	0.75	0.70	
		満足度	0.04	0.07	0.10	
3	図書館が充実している	重要度	0.91	1.07	1.04	生涯学習講座の充実に係る満足度以外、いずれの調査項目においても令和2年度調査時よりも重要度・満足度が向上している。コロナ禍を経験したことによる学びへの意識の変容と新図書館の開館が、市民の生涯学習に対する意識の高まりにつながっているものと考えられる。
		満足度	▲ 0.14	0.90	0.78	
4		重要度				
		満足度				

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 地域課題の解決に生かせる学びの展開	3年間の講座を経て、所定のカリキュラムを終了した受講生5人を第2期のかめやま人として認定するとともに、かめやま人認定者に対して支援を行った。今後も学びの循環による人材育成を展開していく。
② 新図書館を核とした読書活動・市民活動の推進	誰もが利用しやすい環境づくりやサービス提供に取り組みつつ、ボランティア等との協働を進め、交流の場や読書に親しむ機会を創出することで、読書活動の推進につなげた。
③ 誰もが学べる環境づくり	学びの情報を一元化した学びのガイドブックを発行するとともに、中央公民館講座等を開催し、市民に学びの機会を提供した。引き続き学びの機会の充実を図る。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

地域課題の解決に生かせる学びの展開では、第2期かめやまキャンパスの3年目として、「まちのインフルエンサー養成講座」と「まちのせんせい養成講座」を開設し、オンライン環境が整っている図書館の多目的室を拠点として講座を展開した。かめやまキャンパスでは、3年を1期として1年目は入門編、2年目は基礎編、3年目は応用編として講座を展開している中、令和7年度は3年間の講座を経て、成果の発表など所定のカリキュラムを修了した受講生5人に対して、「かめやま人」の称号を授与した。また、かめやま人認定者に対して、フォローアップ講座も実施し、中央公民館講座等の講師や行政指導員として登用するための支援を行った。新図書館を核とした読書活動・市民活動の推進では、図書館については、令和7年度においても、図書館ボランティアとの協働による各種行事をはじめ、様々なイベントの開催等により入館者数が令和6年度と比較して14.3%増の31万6,930人となり、後期基本計画における成果指標に設定した年間利用者数23万人を大きく上回り、「学びの場からつながる場へ」を基本理念とした知の拠点として、市民交流の場となっている。誰もが学べる環境づくりでは、市内幼稚園・保育所において、家庭教育出前講座の開催や子育て応援メッセージである「かめやまお茶の間10選(実践)」の強化月間等に取り組んだほか、青少年体験活動サマーキャンプを実施し、中学生のジュニアリーダーや高校生のリーダー等の参画を通じ、異年齢交流を促進できた。こうしたかめやまキャンパスと公民館事業を基軸とした様々な講座の実施や青少年健全育成の取り組みを通じて、学習機会や体験機会を市民に提供し、地域の課題解決に取り組む人材育成の推進につなげることができた。

A

順調に進んだ

今後の展開方針

中央公民館講座については、引き続き、高等教育機関と連携等を図るとともに、市民ニーズに沿った多種多様な講座を継続して提供していく。一方、かめやま人の今後の活動を支援するため、行政関連部署や各関係団体等と連携を図るとともに、フォローアップ講座やかめやま人ミーティングを継続して開催する。また、「かめやま人」、「中央公民館講座受講者」等を含む本市が掲げる健康都市の実現に寄与する地域人材の育成や活躍の在り方、そうした講座間の連携の可能性等についての研究に向けた機運の向上を目指す。図書館利用者の更なる拡大に向け、令和10年に迎える図書館開館100周年への機運を盛り上げる取り組みを進めるとともに、レファレンス機能の強化や職員の専門性の向上等により、学習・調査機能の充実を図る。また、「教育のまち亀山」DNA継承の取り組みの推進についても庁内連携を進めていく。